

1 事業の成果

前年度の実績を基に補助犬使用者皆さまや神奈川県立相原高校ドックチームや麻布大学介在動物学研究室の皆様のご協力を得て学校関係の授業やイベントの実施、街頭啓発活動の実施をいたしました。ホームページ、メールマガジン、機関紙等を用いた総合的な啓発活動を行いました。補助犬使用者との研修旅行や講習会の実施により、補助犬の啓発活動を行いました。理事1名が退任し高校生の理事が誕生しました。

2 事業内容

特定非営利活動に係る事業

(1) 補助犬等に関する調査研究及び育成団体への支援事業

- ・内容 補助犬使用者の団体との意見交換のため平成22年ハーネスサミット長野伊那谷研修会に理事と会員が参加いたしました。
- ・日時 9月4日
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 1団体
- ・支出額 58,440円

(2) 補助犬等の退役犬施設運営及びケア事業

ア 補助犬等の退役犬施設運営事業

- ・内容 はた犬ケアハウスの円滑な運営を確保するため街頭募金活動を年間14回行いました。得た寄付金は、運営費や器具備品の充実を図るために使用しました。

街頭募金

- ・江ノ島電鉄鎌倉駅前横浜銀行鎌倉支店仮店舗前 平成22年1月10日 3月13日 4月29日
5月4日 6月6日 6月13日 6月20日 6月27日 7月3日 9月26日
- ・江ノ島電鉄鎌倉駅前西口広場 平成22年3月20日 3月27日 4月4日
- ・JR横浜線橋本駅前 平成22年4月11日

- ・日時 年間
- ・従事者人員 169人
- ・支出額 1,310,314円

イ 補助犬のケア事業

- ・内容 補助犬使用者や当会の活動に賛同していただける方の家庭犬を対象に一時預かり、緊急預かりを行いました。平塚盲学校の外国人留学生の週末の宿泊、当会の活動に賛同しケアハウスを利用される方に、はた犬ケアハウス利用規定を整備し利用環境を整えました。
- ・日時 年間
- ・場所 はた犬ケアハウス
- ・従事者人員 665人
- ・支出額 886,400円

ウ 研修旅行

- ・内容 はた犬ケアハウスの運営、補助犬のケア事業の推進のため補助犬育成団体の施設を補助犬使用者とともに見学、意見交換を行い当会の施設の宣伝を行いました。
- ・参加人数 31名、盲導犬1頭、盲導犬の引退犬3頭、家庭犬1頭
- ・日時 7月17日
- ・場所 盲導犬の里 富士ハーネスの見学
- ・従事者人員 6人
- ・対象者 31名
- ・支出額 176,850円

(3) 補助犬 セラピー犬に関する普及啓発情報提供事業

ア 普及啓発情報提供事業

- ・内容 機関紙の発行、ホームページの更新、メールマガジンの発信、セミナー・勉強会開催、親睦会の実施、総合学習や福祉授業への協力を行い普及啓発及び情報提供活動を行いました。

機関紙の発行

- ・10月10日会報「働く犬」(第11号)を発行いたしました。印刷部数500部 無料配布数285部
- ・ホームページの更新
- ・随時、イベントの紹介・活動報告などを掲載いたしました。

メールマガジンの発信

- ・ 11月、1月、3月、5月、7月、9月にメールマガジンを発行いたしました。9月の送信数 420 通

親睦会の実施

- ・ 7月31日 ” はた犬ケアハウス交流納涼会 ” を開催いたしました。

参加者 13名 盲導犬 1頭 退役犬 2頭 宿泊のご利用 1名

総合学習、イベント等への協力

- ・ 8月19日学童 こどもクラブ サクラ・はうす
- ・ 2月24日平塚市立金田小学校
- ・ 2月15日相模原市立根戸屋小学校
- ・ 1月23日平塚市立旭日小学校
- ・ 1月21日平塚市立中原小学校
- ・ 12月7日平塚市立宗善小学校
- ・ 11月26日平塚市立花水小学校
- ・ 8月22日麻布大学介在動物学研究室主催の「イヌと触れ合う五つの輪」に参加しました。
- ・ 8月4日はた犬ケアハウスで介助の研修会を開催いたしました。
- ・ 7月19日麻布大学介在動物学研究室で補助犬についての研修会に参加しました。
- ・ 11月16・20日全日本盲導犬使用者の会東海道五十三次ウォークリレーに参加しました。
- ・ 11月14日～15日第19回全国産業教育フェア神奈川大会」に参加させていただきました。
- ・ 10月31日～11月1日神奈川県立相原高校文化祭に参加させていただきました。
- ・ 10月26日福祉フェスティバルに参加いたしました。
- ・ 10月25日大空祭りに参加させていただきました。
- ・ 10月3日市民活動フォーラム「みんなで語ろう・市民活動は面白い」に参加させていただきました。

- ・ 従事者人員 213人
- ・ 対象者 不特定多数
- ・ 支出額 369,523円

イ 普及啓発講演会

9月11日(土)恒例のセミナーを開催致しました。

場 所：ひらつか市民活動センター 2F 会議室

テーマ：働く犬は社会のなかま

補助犬や災害救助犬などの社会に貢献する犬たちを多くの方に知っていただき理解を深める。

内 容：第一部 補助犬の普及に向けて～麻布大学での取り組み「イヌと触れ合う五つの輪」～

麻布大学獣医学部大学院動物介在研究室大学院生山本真理子さん

第二部 研究発表 神奈川県立相原高等学校畜産科学科の皆様

- ・ 従事者人員 10人
- ・ 参加人数 41名
- ・ 支出額 40,650円

その他の事業

(1)物品の販売

- ・ 内容 働く犬関連商品の販売
- ・ 日時 随時
- ・ 場所 法人事務所
- ・ 支出額 50,211円

(2)ホームページ、機関紙への広告掲載事業

- ・ 内容 機関紙への広告掲載 1社
- ・ 日時 機関紙への広告掲載 2月27日
- ・ 場所 法人事務所
- ・ 従事者人員 1人
- ・ 支出額 9,000円

貸借対照表
平成22年9月30日現在
(特定非営利活動に係わる事業会計)

科 目	金 額
資産の部	

1	流動資産			
	現金手許有高	¥466,765		
	普通預金 郵便局ぱるる	¥593,634		
	郵便局 振替え口座	¥5,806		
	普通預金 横浜銀行平塚支店	¥26,398		
	未収入金 (施設利用料)	¥66,000		
	未収入金 (会費)	¥15,000		
	仮払金(ボランティア謝礼)	¥373,460		
	流動資産合計		¥1,547,063	
2	固定資産			
	保証金 (ケアハウス)	¥500,000		
	固定資産合計		¥500,000	
	資産合計			¥2,047,063
II	負債の部			
1	流動負債			
	未払金 (会報印刷費)	¥46,000		
	未払金 (ボランティア謝礼)	¥373,460		
	預り金	¥150,520		
	流動負債合計		¥569,980	
2	固定負債			
	長期借入金	¥0		
	固定負債合計		¥0	
	負債合計			¥569,980
	正味財産 の部			
	正味財産			¥1,477,083
	(当期正味財産の増加額)			¥-2,902
	負債及び正味財産合計			¥2,047,063

(その他の事業会計)

科 目		金 額		
	資産の部			
1	流動資産			
	現金手許有高	¥17,000		
	普通預金 郵便局ぱるる	¥1,251		
	郵便局 振替え口座	¥14,516		
	普通預金 横浜銀行平塚支店	¥57,018		
	未収金(物品販売)	¥3,250		
	未収金(広告掲載料)	¥9,000		
	商品在庫	¥39,748		
	流動資産合計		¥141,783	
2	固定資産			
	固定資産合計		¥0	
	資産合計			¥141,783
II	負債の部			
1	流動負債			
	未払金 (会報印刷費)	¥9,000		
	流動負債合計		¥9,000	
2	固定負債			
	長期借入金	¥0		
	固定負債合計		¥0	
	負債合計			¥9,000

正味財産の部 正味財産		¥132,783
(当期正味財産の増加額)		¥1,358
負債及び正味財産合計		¥141,783

平成21年度収支計算書

(特定非営利活動に係る事業会計)

平成21年10月1日から平成22年9月30日まで

科目	金額	備考
I 収入の部		
1 会費・入会金収入		
入会金	¥8,000	¥8,000 × 1 人
正会員年会費	¥300,000	¥12,000 × 25 人
賛助会員年会費	¥318,000	¥3,000 × 106 人
2 事業収入		
はた犬ケアハウス利用料(短期)	¥144,000	¥3,000 × 48 回
はた犬ケアハウス利用料(週末利用)	¥596,000	
研修旅行参加費	¥55,600	
納涼会参加費	¥26,000	
3 寄付金(街頭募金)	¥688,536	
寄付金(一般)	¥1,403,819	
4 預金利息	¥373	
(5 繰入金収入		
その他の事業会計からの繰入金収入)	¥175,000	
当期収入合計(A)	¥3,715,328	
前期繰越収支差額	¥1,484,985	
収入合計(B)	¥5,200,313	
II 支出の部		
1 事業費		
(1)補助犬等に関する調査研究及び育成団体への支援事業		
会議費	¥1,000	
旅費交通費	¥40,440	
接待交際費	¥17,000	
(2)補助犬等の退役犬施設運営及びケア事業		
謝礼	¥409,500	¥500 × 819 人
消耗品費	¥1,256	
地代家賃	¥1,200,000	
保険料	¥6,000	
修繕費	¥42,000	
犬具費	¥2,242	
旅費交通費	¥246,610	
水道光熱費	¥186,366	
支払手数料	¥4,180	
接待交際費	¥3,900	
備品購入費	¥7,968	
法人税及び住民税額	¥70,000	
雑費	¥263,642	
(3)補助犬に関する普及啓発情報提供事業		
謝礼	¥122,500	¥500 × 245 人
賃借料	¥37,800	
旅費交通費	¥114,420	

	支払手数料	¥3,780	
	広告宣伝費	¥100,000	
	雑費	¥31,673	
2	管理費		
	謝礼	¥99,000	¥500 × 198 人
	事務用品費	¥107,856	
	賃借料	¥252,210	
	保険料	¥1,120	
	会議費	¥25,000	
	諸会費	¥5,000	
	租税公課	¥1,056	
	旅費交通費	¥59,380	
	通信費	¥190,783	
	水道光熱費	¥43,496	
	支払手数料	¥10,730	
	荷造包装費	¥1,700	
	雑費	¥8,622	
3	予備費	¥0	
	当期支出合計	¥3,718,230	
	当期収支差額(A) - (C)	¥-2,902	
	次期繰越収支差額(B) - (C)	¥1,482,083	

(その他の事業会計)

科 目	金 額	備 考
収入の部		
(1) 物品の販売による事業収入		
売り上げ	¥604,300	
寄付金	¥5,050	
(2) ホームページ、機関紙への広告		
掲載事業による事業費収入		
広告収入	¥18,000	
当期収入合計(A)	¥627,350	
前期繰越利益	¥131,425	
収入合計(B)	¥758,775	
支出の部		
1 事業費		
(1) 物品の販売による事業支出		
謝礼	¥2,000	
旅費交通費	¥2,300	
支払手数料	¥450	
荷造包装費	¥2,700	
雑費	¥1,765	
売上原価	¥432,777	
(2) ホームページ、機関紙への広告		
掲載事業による事業費支出		
広告宣伝費	¥9,000	
(3) 繰入金支出		
特定非営利活動に係る事業会計への		
繰入金支出	¥175,000	
当期支出合計(C)	¥625,992	
当期収支差額(A) - (C)	¥1,358	
次期繰越収支差額(B) - (C)	¥132,783	

監査報告書

平成21年10月30日

特定非営利活動法人働く犬を支援する会
理事長 栗田忠生 殿

特定非営利活動法人働く犬を支援する会

監事 齋田 義貞 

平成20年10月1日から平成21年9月30日（第6期）の会計及び業務の監査の結果について次の通り報告いたします。

監査意見

1. 財産目録、収支計算書は会計帳簿の記載と一致し、特定非営利活動法人の収支状況および財政状況を正しく示しているものと認めます。
2. 事業報告書の内容は、真実であると認めます。
3. 理事の職務執行に関する不正の行為、または法令・定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上